

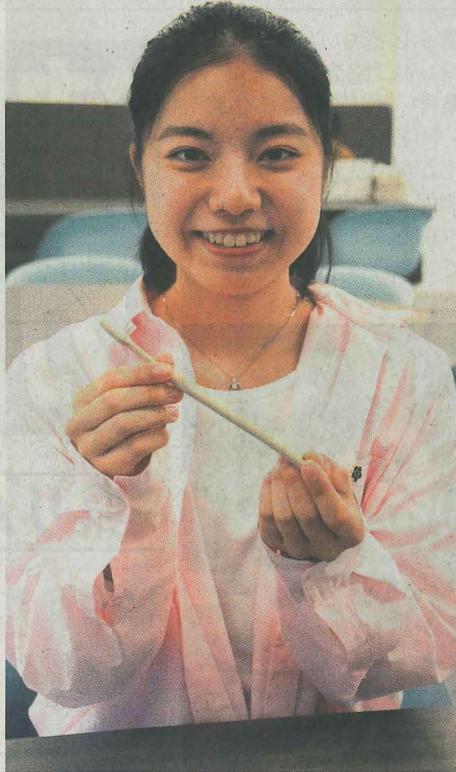
## 世界最大規模の学生ピッチコン

# 牧方さん(弘大3年)東日本代表に

### ホタテ貝殻アップサイクル歯ブラシ開発

## 大阪万博で本大会

7月  
開催 P R へ意気込み



ホタテ貝殻をアップサイクルした歯ブラシを開発し、万博で開かれる本大会に臨む牧方さん

ホタテの養殖生産日本一の本県で、廃棄量の多さが長年の課題となっている貝殻の焼成パウダーを使った歯ブラシを開発している弘前大学農学生命科学部3年の牧方咲良さん(20)は青森市で、国内外の学生が起業や技術革新に関するアイデアを発表するコンテスト「Youth Innovation EXPO」の東日本大会で優勝し、7月19日、大阪・関西万博会場で開かれる本大会に出場する。牧方さんは「万人が使う日用品だからこそ、地球環境の課題に貢献できることをPRしていきたい」と意気込む。(西尾瑛)

同コンテストは、世界最大規模のピッチコンテストで、海外を含む各地区大会優勝者が、万博会場での本大会に挑む。5月23日の東日本大会には7組が出場した。牧方さんは自身が取り組んでいる「ホタテ貝殻のアップサイクルプロジェクト」でエントリー。大学で土壌改良を学ぶ中で肥料としてホタテの貝殻が使われていること

を知り、また高校時代から歯ブラシの持ち手ももったいないと感じていたこともあり、貝殻を、生活必需品で廃棄量も多い歯ブラシに再生させることを目指し、合同会社「Mint And (ミントエンド)」を設立。抗菌・消臭作用を持つ貝殻パウダー51%配合のプラスチック樹脂を使用した歯ブラシを開発しプラスチックごみの減量も目指しており、6月18日の「ホタテの日」に合わせ発売する。東日本大会の優勝は「信じられない気持ち」と牧方さん。「万博という素晴らしい舞台で、ホタテなど本県をしっかりとPRできた」と意気込んでいる。本大会は英語で行われることになり、目下スキルアップを目指しているという。

この画像は、当該ページに限って”陸奥新報”の記事利用を許諾したものです。転載ならびにページへのリンクは固くお断りします。